

# 1 概況

総合指数は2020年を100として103.9となり、前年比は2.6%の上昇となった。

生鮮食品を除く総合指数は103.4となり、前年比は2.3%の上昇となった。

生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数は103.4となり、前年比は3.5%の上昇となった。

## 1-1 近年の総合指数の動き

和歌山市の年平均総合指数は、令和元年以降は下降傾向にあったが、令和4年は上昇に転じた。

平成26年は、消費税率引上げに加え、近年下落が続いていた家庭用耐久財などの上昇により、2.8%の上昇となった。

平成27年は、前年末から原油価格の下落が続き、ガソリン、灯油などが下落したものの、宿泊料や液晶テレビ、婦人用衣料などの上昇により、0.5%の上昇となった。

平成28年は、前年から引き続きガソリン、灯油などが下落したものの、食料や婦人用衣料などの上昇により、0.1%の上昇となった。

平成29年は、住居や被服及び履物等が下落したものの、食料（生鮮魚介、酒類等）や原油価格の上昇によるガソリン、灯油などの上昇により、0.5%の上昇となった。

平成30年は、住居と家具・家事用品が下落したものの、食料（魚介類、野菜・海藻、穀類等）や前年から続く原油価格の上昇によるガソリン、灯油などの上昇により、0.8%の上昇となった。

令和元年は、消費税率引上げがあったものの、食料（生鮮魚介、生鮮野菜）、ガソリンなどの下落のほか、通信料（携帯電話）の新料金プランや幼児教育・保育無償化の実施などにより、0.2%の下落となった。

令和2年は、食料（生鮮野菜、生鮮果物）などが上昇したものの、ガソリンなどの下落、前年に実施された幼児教育・保育無償化に加え、新型コロナウイルス感染拡大で落ち込んだ観光需要の政府支援策「Go To トラベル事業」による宿泊料金の割引もあり、前年と同水準となった。

令和3年は、原油価格の上昇によるガソリン、灯油などの上昇に加え、前年実施された「Go To トラベル事業」の反動により宿泊料が上昇したものの、スマートフォン向けに提供開始された低廉な料金プランにより通信料（携帯電話）が下落し、0.3%の下落となった。

令和4年は、前年に引き続き通信料（携帯電話）が下落したものの、原油価格や原材料費の上昇により、幅広い品目の食料や電気代、ガス代などが上昇し、1.7%の上昇となった。

令和5年は、政府によるエネルギー価格高騰対策として「電気・ガス価格激変緩和対策事業」が実施され電気代、ガス代が下落したものの、原材料費の上昇などにより家具・家事用品や食料などをはじめとする幅広い分野で価格が上昇し、2.6%の上昇となった。

図1 和歌山市消費者物価指数と前年比の推移

(総合指数、2020年=100)

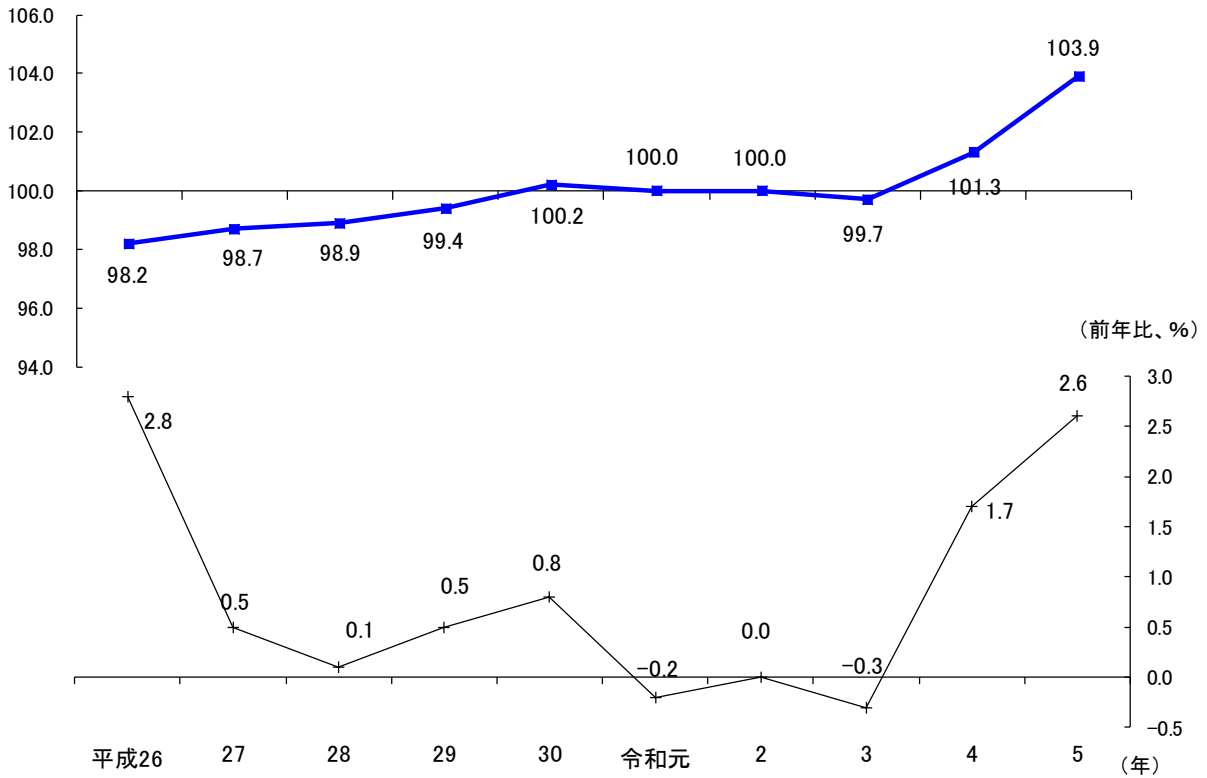


表1 和歌山市消費者物価指数と前年比の推移

年平均	総合指数 (2020年=100)	前年比 (%)
平成26年	98.2	2.8
平成27年	98.7	0.5
平成28年	98.9	0.1
平成29年	99.4	0.5
平成30年	100.2	0.8
令和元年	100.0	-0.2
令和2年	100.0	0.0
令和3年	99.7	-0.3
令和4年	101.3	1.7
令和5年	103.9	2.6

表2 令和4年の主な項目の変化率

項目	前年比 (%)
総合	2.6
生鮮食品を除く総合	2.3
持家の帰属家賃を除く総合	3.1
持家の帰属家賃及び生鮮食品を除く総合	2.7
生鮮食品及びエネルギーを除く総合	3.5

注)前年比は各基準年の公表値による。(以下同じ)

図2 総合指数の月別の動き  
(2020年=100)

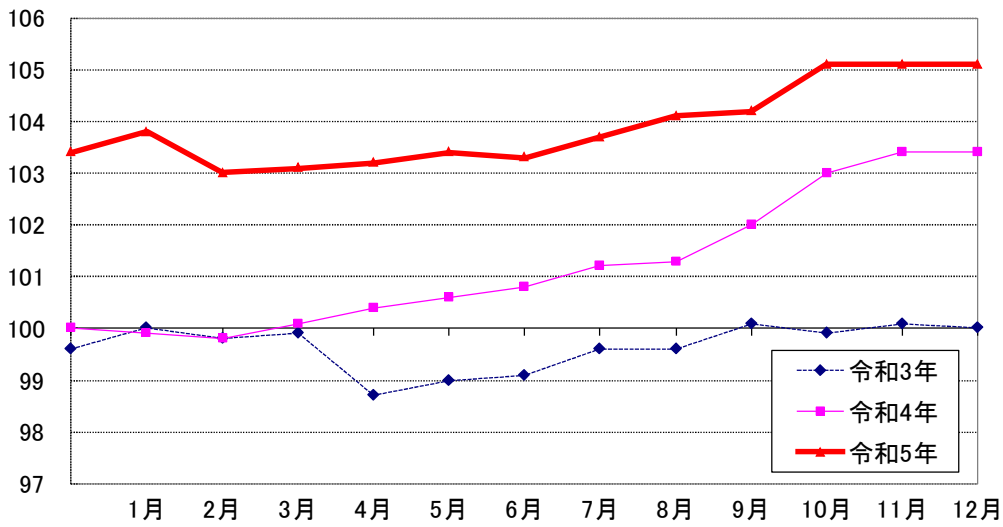


図3 生鮮食品を除く総合指数の月別の動き  
(2020年=100)

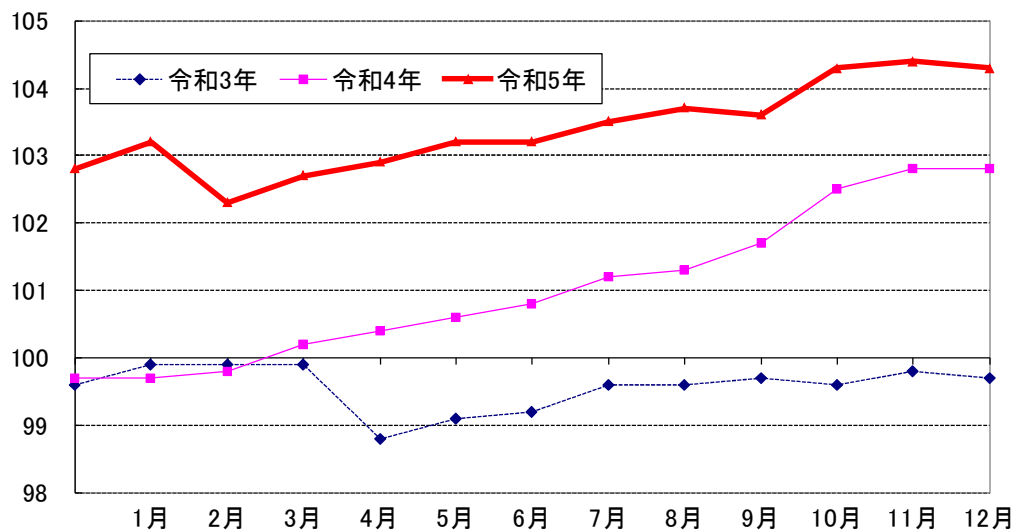
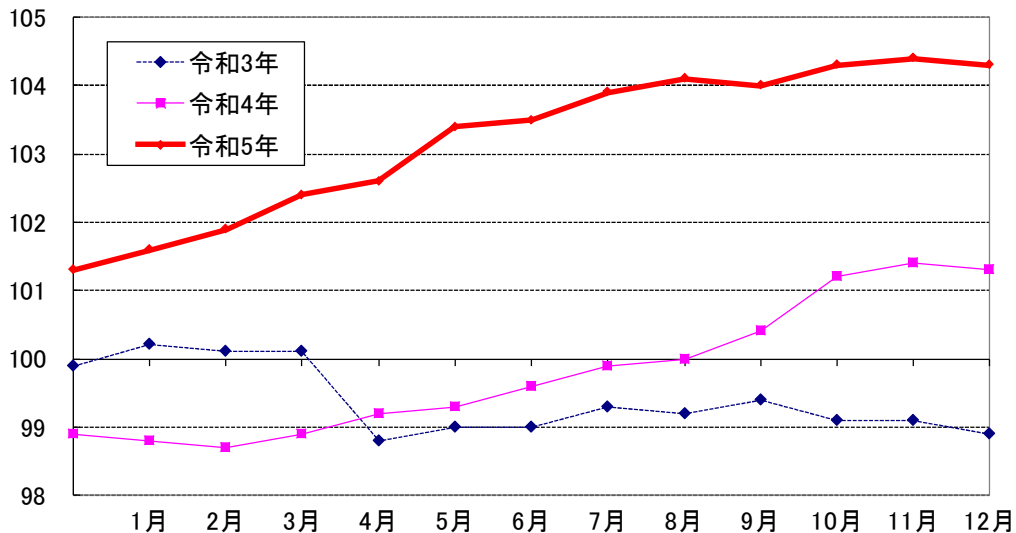


図4 生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数の月別の動き  
(2020年=100)



## 1-2 10大費目指数の動き

令和5年（2023年）の10大費目指数の動きを前年比でみると、上昇したものが9費目、下落したものが1費目であった。

上昇した費目で代表的なものは、**家具・家事用品**（7.8%）、**食料**（7.1%）、**被服及び履物**（4.5%）であった。

一方、下落した費目は、**光熱・水道**（-10.7%）であった。

10大費目の動きを令和5年総合指数の前年比に対する寄与度でみると、大きく上昇に寄与したものが**食料**（19.60）、**教養娯楽**（3.20）となり、大きく下落に寄与したものが**光熱・水道**（-8.50）となっている。

図5 10大費目の前年比

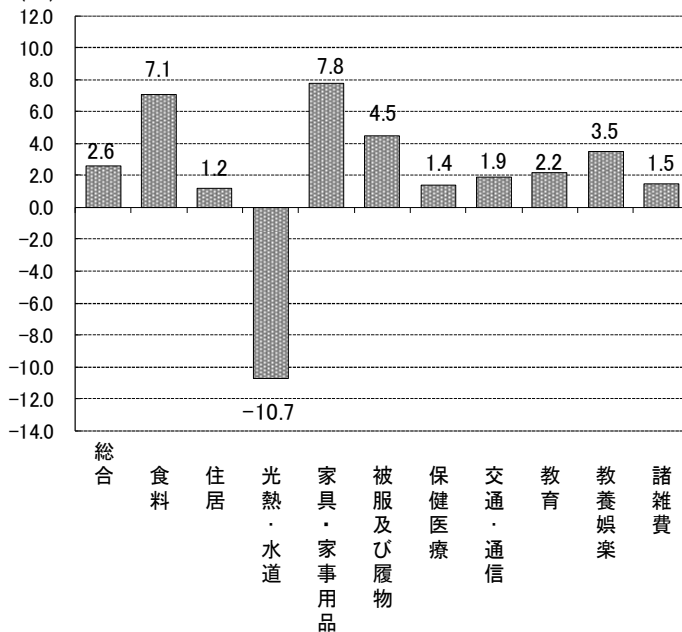


表3 10大費目の前年比及び寄与度

10大費目	前年比 (%)	寄与度
総合	2.6	25.80
食料	7.1	19.60
住居	1.2	2.60
光熱・水道	-10.7	-8.50
家具・家事用品	7.8	2.90
被服及び履物	4.5	1.50
保健医療	1.4	0.70
交通・通信	1.9	2.20
教育	2.2	0.60
教養娯楽	3.5	3.20
諸雑費	1.5	0.90

図6 10大費目の寄与度

